

檜葉町駐在現地確認概要(平成29年11月20日～11月24日)

確認日	確認目的	確認箇所	確認状況	プラント関連 パラメータ
11月20日	3号機原子炉建屋へのクレーン設置作業の状況確認	3号機原子炉建屋西側1・2号機開閉所	○3号機原子炉建屋オペフロへのクレーン設置が行われたことから、その作業状況を確認した。 クレーンは、7時35分頃、3号機原子炉建屋西側ヤードから2台のクローラークレーンでつり上げが開始され、8時00分頃、オペフロのガーダー上につり下ろされた。その後、待機していた作業員により、クレーン廻りでの作業が行われた。 クレーンの設置作業は、特段のトラブルなく順調に進められたことを確認した。	9時45分現在
	2号機原子炉格納容器ガス管理設備監視不能に伴う運転上の制限逸脱の状況確認	-	○11月20日、8時10分、2号機格納容器ガス管理設備B系に警報が発生し、キセノン135の放射能濃度の監視ができない状態になり、8時30分に運転上の制限(LCO)を満足できていないと判断されたことから、免震重要棟内にて情報収集した。 運転班からの情報によると、ガス管理設備B系に設置されている弁の一つ(本来、開いているべき弁)が閉まっていることが確認され、これを開操作したところ、0～70ℓ/minのガス流量が確認されたとのことであった。 その後、キセノン135の濃度測定ができるようになり、10時53分にLCOを満足していることが確認された。	
11月21日	G6タンクエリアにおけるフランジタンク解体状況の確認	G6タンクエリア	○G6フランジタンクエリアのフランジタンク撤去作業の進捗状況を確認した。 G6南エリアについて、配管の撤去作業が行われており、フランジタンクについても1基目の解体が開始されていた。 現場で目視した限りでは問題点は見当たらなかった。	11時20分現在
11月22日	5号機D/G室の地下水流入箇所の措置状況等の確認	5号機タービン建屋	○台風21号の接近に伴い、5号機D/G 5A室及びB室に地下水が流入し、それに対する止水措置等が行われたことから、その状況を確認した。 地下水の流入が確認された箇所は、建屋と配管の隙間部などであり、養生シートで補修されていたり、水受け用のバケツなどが設置されていることを確認した。東京電力によると、今後、流入箇所廻りのコーキングを行うとのことであった。 地下水流入に対する応急措置等が行われていることを確認した。	12時05分現在
11月24日	ガレキ一時保管エリアCの状況確認	ガレキ一時保管エリアC	○ガレキ一時保管エリアCの現況について、現場確認した。 当該エリアには、金属類やコンクリート、フレコンバッグ等に収納された可燃物や難燃物など、様々な廃棄物が大量に野積みされていた。 現場で目視した限り、廃棄物が飛散・流出等している様子は確認されなかった。	11時56分現在

※プラント状況については、プラント関連パラメータをご参照ください。